

2020年度 ESD ティーチャープログラム 大牟田会場 開催要項

1. 目的と内容

2015年に開催された国連持続可能な開発サミットにおいて「我々の世界を変革する：持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択され、その中心が持続可能な開発目標（SDGs）である。日本においても、今年度から全面実施された新しい学習指導要領の前文に「持続可能な社会の創り手」の育成が明記されるなど、持続可能な社会づくりにおいて教育が担う役割には大きなものがある。本プログラムは、持続可能な社会の担い手を育成する教育であるESD（Education for Sustainable Development）を適切に指導できる教員に求められる資質・能力を明らかにし、その力量形成を目的に以下の内容で実施するものである。

（1）SDGsの理解促進、（2）ESDの学習理論、（3）優良実践事例の分析、（4）授業構想案の相互検討とESD学習指導案の作成、（5）ESD学習指導案の相互検討

5回の研修に参加し、毎回のミニレポートを作成すると共に、ESD学習指導案を作成した現職教員等には、奈良教育大学学長より、「ESDティーチャー」の認定証を授与する。

2. 主催 奈良教育大学、近畿ESDコンソーシアム
後援 大牟田市教育委員会

3. 開催日時と研修内容・担当者

（1）8月1日（土）

10時～12時：SDGsの理解促進・大西浩明

13時～15時30分：ESDの学習理論・中澤静男

（2）8月22日（土）

10時～12時：優良実践事例の分析・河野晋也（大分大学）・島俊彦（大牟田市立吉野小学校）
圓山裕史（奈良市立飛鳥小学校）

13時～15時30分：授業構想案の相互検討とESD学習指導案の作成・中澤静男、河野晋也

（3）10月24日（土）13時～15時30分：ESD学習指導案の相互検討・大西浩明・中澤静男

4. 会場 大牟田文化会館

5. 参加対象 大牟田市内の教員10名程度

6. 参加料 無料

7. 参加申し込み 大牟田市教育委員会指導室に申し込む